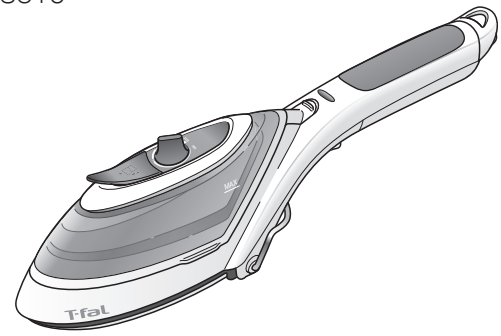
T-fal

取扱説明書

ティファール

スチームアンドプレス

製品番号 DV8610



目次

安全上のご注意 2
各部の名前とはたらき 7
絵表示の見方と温度の関係 8
衣類に表示されている取り扱い絵表示 8
温度設定目安表 8
ご使用の前に 10
使い方 12
使い終わったら 19
お手入れ 20
本体のお手入れ 20
かけ面のお手入れ 20
目詰まりの除去 21
故障かなと思ったら 23
仕様 27

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-14-13 高輪ミューズビル
修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 11-1
羽田クロノゲート 7 階 YMM 内

お客様相談センター
ナビダイヤル 0570-077772
受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文センター
修理センター
ナビダイヤル 0570-086072
受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、 人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。

	発火注意		強制または指示		分解禁止
	禁止行為		感電注意		接触禁止
	電源プラグをコンセントから抜く				

⚠ 警告

電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する

間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電の恐れがあります。

使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

ショートや発火する恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

コンセントについて

- **単独でコンセントを使用する**
- **2 口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する**
- **延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する**

  コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機器は安全に責任を有する人物が本機器の使用について監督または適切な指示を与えないかぎり、身体的、感覚的または精神的に低下している（子供を含む）、および経験または知識を持たない人物による使用をしない

やけど・感電・けがをするおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。

熱いアイロンにコードを巻き付けない
ショート・発火の原因になります。

本体を水につけたり、水をかけたりしない

万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない。
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。

スチームトリガーを連続して速くひかない
湯滴漏れによるやけどの原因になります。

高温部（本体のかけ面など）には手を触れない
やけどのおそれがあります。
また、使用中あるいは使用直後は、絶対にコードがアイロンかけ面に触れないようにしてください。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

熱いスチームに触れない
やけどの原因になります。

アタッチメントを取り付ける / 取りはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アイロンが十分に冷めてからおこなう
やけどの原因になります。

熱くなっているときにアイロンを直接机の上などに置かない
必ずスタンド金具を出してください。

給排水時は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

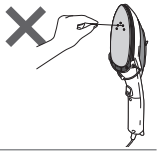
安全上の注意（続き）

本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのはおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
※ 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分にご注意ください。

お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。
故障の原因になります。



コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品・絹などには使用しないでください。
衣類を傷める原因になります。

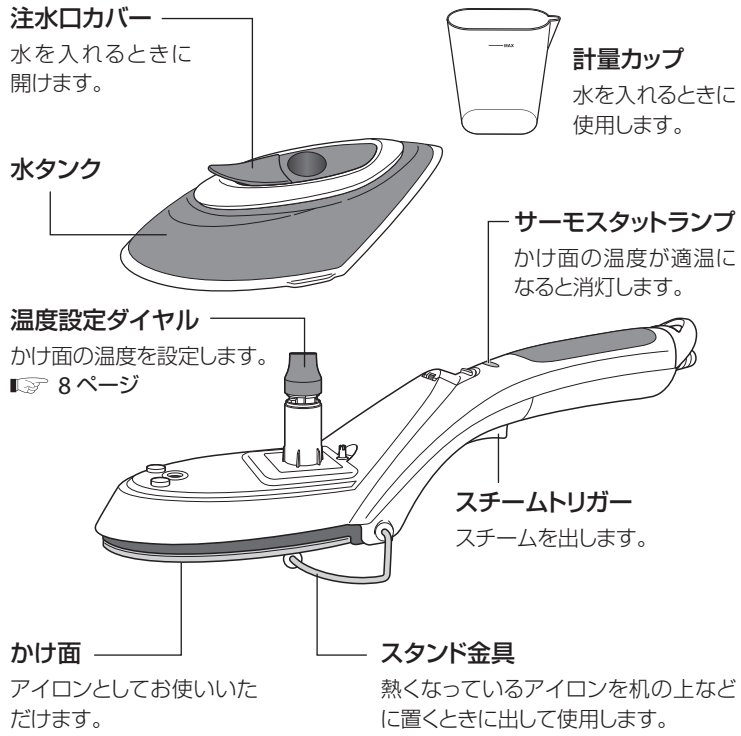
高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。

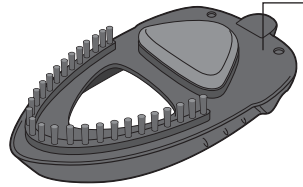
特にご注意 ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミヤなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わないでください。
誤動作の原因になります。

本製品は必ず屋内で使用してください。

各部の名前とはたらき





アタッチメント
コートなど毛の長い衣類をブラッシングするときに取り付けます。
☞ 18 ページ

絵表示の見方と温度の関係

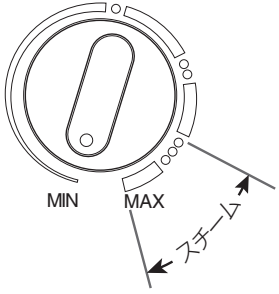
衣類に表示されている取り扱い絵表示

（一部参考例）

絵表示	アイロンのかけ方
	あて布をして高温でかけてください。 ～線は指示温度であて布をするという意味です。
	低温でかけてください。
	アイロンかけはできません。

※ その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表



繊維	温度設定 ダイヤルの位置
合成繊維 アクリル・ナイロン・ ポリエステル・アセテートなど	●（低温）
絹／羊毛	●●（中温）
木綿・麻	●●●（高温）

スチームは「●●●（高温）」以上に設定したときにお使いいただけます。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・羊毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※アイロンかけの前に衣類を分けておくと能率的です。

注意 念のために衣類の目立たないところでためしがけをすることをお勧めします。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。
アイロンを加熱する前に、かけ面からラベル類を剥がします。

初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。症状がひどくなる場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。
この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から白い粉が出てくることがありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には、10 回ほどスチームトリガーをひいて蒸気を出してからご使用ください。スチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

初めてアイロンをご使用になる際や、長期間スチームをご使用にならなかった際は、まれにスチームが出るまで時間がかかることがあります。

その場合は、15 ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めに、スチームトリガーを 10 ～ 15 回程ひくと、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。
スチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

ご使用にあたっての注意事項

水道水をご使用ください。

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、リネンウォーターなどを加えた水などはご使用にならないでください。アイロンのスチーム穴が詰まったり、布地のシミの原因となります。

のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ（スプレーのりも含む）、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ（こげつき）だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

温度設定は正確にしてください。

8 ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ（こげつき）や衣類を傷める原因になります。

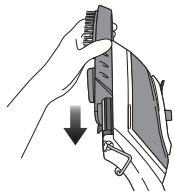
使い方

アタッチメントを使用するときは、あらかじめアタッチメントを本体に取り付けます。

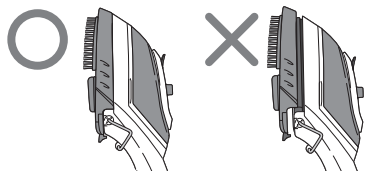
注意 アタッチメントは、かけ面が熱い状態で取り付けたり、取りはずしたりしないでください。やけどの原因になります。
アタッチメントの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後、1 時間以上時間を置いてからおこなってください。

アタッチメントの取り付け方法

アタッチメントを本体の溝に合わせて差し込み、カチッと音がするまで奥まで差し込みます。

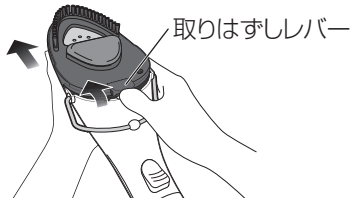


アタッチメントは横から見たときに、本体とすき間ができないように取り付けてください。



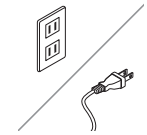
アタッチメントの取り外し方法

本体をしっかり持ち、アタッチメントの取りはずしレバーを押し上げながら、アタッチメントを押し出します。

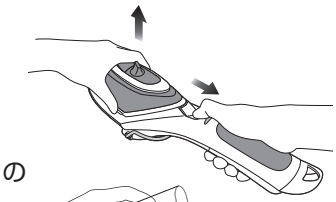


1 水タンクに水を入れます。

（スチームを使う場合）



① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。



② 水タンクを本体からはずします。
レバーを引っぱりながら、水タンクを持ち上げます。

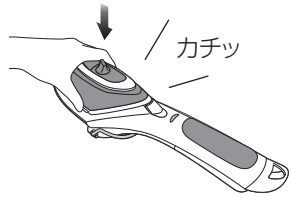
③ 注水口カバーを開け、水タンクの MAX マークまで付属の計量カップで水を入れます。
※ 水は MAX より入れすぎないように注意してください。水漏れの原因になります。
※ 水を入れた水タンクは、机の上などに直接置かないでください。水がもれるおそれがあります。

④ 注水口カバーをしっかり閉めます。

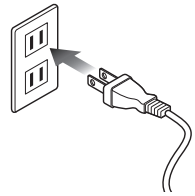
注意
- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されています。
- 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがありますので、衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸／濾過された水、ミネラルウォーター等の水はご使用にならないでください。

2 水タンクを本体にセットします。

カチッと音がするまで水タンクを上から押してください。



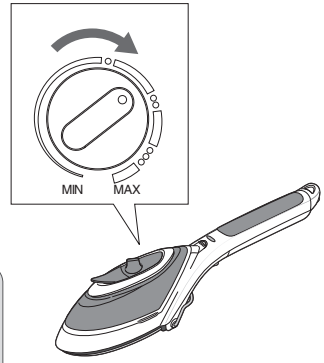
3 電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。



4 温度を設定します。

温度調整ダイヤルを回してお好みの温度にセットします。

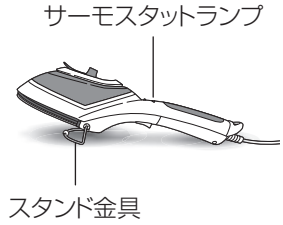
スチームを使うときは、温度を「●●●（高温）」以上にセットしてください。



お願い

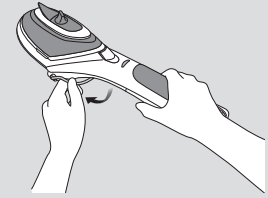
「MIN」でも通電しているので、使用時以外は必ず電源プラグを抜いてください。

5 スタンド金具を出してアイロンを置き、サーモスタットランプが消えるまで待ちます。



注意

アイロンを机などの上に置くときは必ずスタンド金具を出し、かけ面が机などに触れないようご注意ください。



初めてスチームをご使用になるときや、長期間スチームをご使用にならなかったときは…

以下の手順で、スチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。

1 温度設定ダイヤルを「MAX」にセットします。

2 サーモスタットランプが消えたら、かけ面を下にしてアイロンを浮かし、スチームトリガーをひいてスチームを出します。

※ 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、スチームトリガーを 10 ～ 15 回程ひいてください。

6 サーモスタットランプが消えたら、使用を開始します。

スチームトリガーをひくとスチームが出ます。
スチームトリガーはひき続けるのではなく、ひいて離す動作を繰り返してください。
トリガーを連続してひくときは、少なくとも 4 秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。

- スチームを出すときは、サーモスタットランプが消えていることを確認してください。
- アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、設定温度まで達してサーモスタットランプが消えてから、アイロンをかけてください。

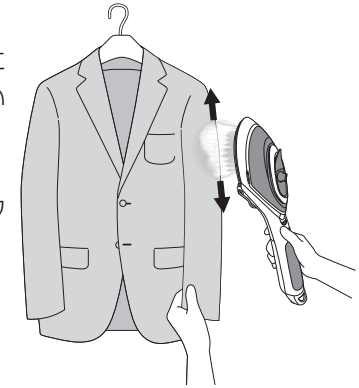
注意

- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。
- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロンの真下に体（足や太もも）がこないように注意してください。

■ スチーマーとして使う

シャツやジャケットなどをハンガーにかけたままスチームトリガーをひいて、スチームをかけます。
シワやにおいを取ることができます。
シャツは引っぱりながらかけるとシワが取りやすくなります。

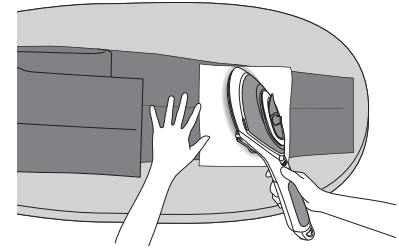
スチームを使うときは、温度設定ダイヤルを「●●●（高温）」以上にセットしてください。



お願い 熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

■ アイロンとして使う

アイロン台を使うことで、スチームアイロンとして使うこともできます。

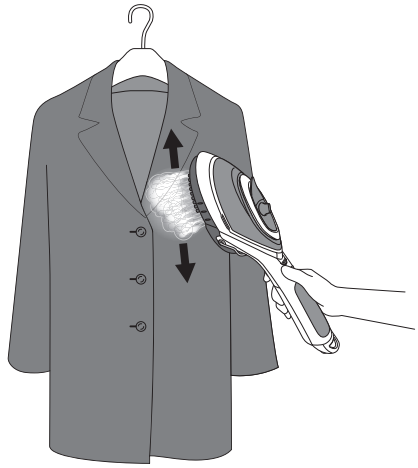


注意 アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。

使い方（続き）

■ ブラシング

アタッチメントをつけて使用すると、衣類についた糸くず、綿ぼこり、毛髪などを簡単に取り除くことができます。



注意 アタッチメントは、かけ面が熱い状態で取り付けたり、取りはずしたりしないでください。やけどの原因になります。
アタッチメントの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後、1 時間以上時間を置いてからおこなってください。

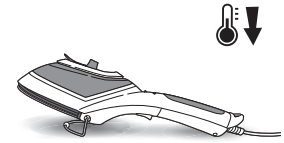
使い終わったら

お願い 必ず水タンクから水を捨ててから保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

1 温度設定ダイヤルを「MIN」にセットします。

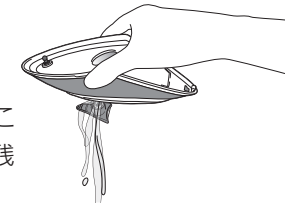
2 電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

注意 電源プラグはサーモスタットランプが消えていることを確認してから抜いてください。



3 水タンクを本体からはずし、水タンクの水を捨てます。

※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。



4 本体が十分に冷めたら、アタッチメントをはずし、本体を保管します。

アイロンは、フックに掛けて壁などにつるすこともできます。

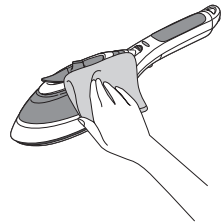
お手入れ

注意 水道水でじかにアイロン本体を洗わないでください。

お願い
- 電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

本体のお手入れ

やわらかい布で拭いてください。
がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



かけ面のお手入れ

汚れが付いたときはすぐに取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。
また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。
かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。
頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして 1 時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

目詰まりの除去　目安：6 ヵ月に 1 回

6 ヶ月ごと、あるいはスチームが弱くなってきたら、以下の手順でお手入れをします。

1 水タンクに水とクエン酸を入れ、スチームを排出します。

① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。

② 温度設定ダイヤルを「MIN」にセットします。

③ 水タンクに水を MAX まで入れ、その中にクエン酸 15g を入れます。

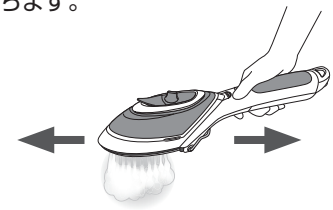
④ 注水口カバーを閉め、水タンクを軽く混ぜます。

⑤ 水タンクを本体にセットします。

⑥ 電源プラグを 100V のコンセントに差し込みます。

⑦ 温度設定ダイヤルを「MAX」に合わせ、サーモスタットランプが消えるまで待ちます。

⑧ 水タンクの水がなくなるまで、シンクの上などでスチームトリガーを繰り返しひきます。



お手入れ（続き）

2 水タンクに水のみを入れ、スチームを排出します。

① 温度設定ダイヤルを「MIN」にセットします。

② 電源プラグをコンセントから抜きます。

③ 水タンクを本体からはずし、MAX まで水を入れます。

④ 水タンクを本体にセットします。

⑤ 電源プラグを 100V のコンセントに差し込みます。

⑥ 温度設定ダイヤルを「MAX」に合わせ、サーモスタットランプが消えるまで待ちます。

⑦ 水タンクの水がなくなるまで、シンクの上でスチームトリガーを繰り返しひきます。

⑧ 水タンクが空になったら、温度設定ダイヤルを「MIN」にセットし、電源プラグをコンセントから抜きます。

故障かなと思ったら

状況　アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
温度設定ダイヤルの位置が正しくない。	温度設定ダイヤルの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
きちんと電源プラグが入っていない。	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。

状況　スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。→ 15 ページ
温度設定が低い。	スチームを使うときは、温度設定ダイヤルを「●●●（高温）」以上にセットしてください。
水タンクが空になっている。	水タンクに水を入れてください。
スチーム穴がつまっている。	「目詰まりの除去」クリーニングをおこなってください。→ 21 ページ
アイロンに水あかがたまっている。	
水を入れずにドライのみを長時間使用した。	

状況　水が漏れる

考えられる原因	対処方法
スチームトリガーの使用回数が多すぎる。	スチームトリガーを連続使用する場合、少なくとも 4 秒間あけてください。
十分な温度になる前にスチームトリガーをひいた。	サーモスタットランプが消えてからスチームトリガーをひいてください。
水タンクに水を入れすぎた。	MAX ライン以上は水を入れないでください。
水タンクを空にせず保管した。	アイロンかけ後は、19 ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、保管してください。
注水口カバーをしっかり閉めていない。	注水口カバーはしっかり閉めてください。

状況　白い粉がかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
セラミックの粉（10 ページ）か、水道水のミネラル分（カルキ等）がたまり、排出された。	10 数回スチームトリガーをひいて蒸気を出してください。

状況　スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。
不適切な水を使用した。	13 ページを参照して水道水を入れてください。
繊維がスチーム穴にたまって焦げてしまう。	湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にスチーム穴をクリーニングしてください。
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。 それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

故障かなと思ったら（続き）

状況　かけ面が汚れる、または茶色くなり、布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
設定温度が高すぎた。	● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● 8 ページの「温度設定目安表」を参照してください。
布地に洗剤やのりが残っている。	● のりを使用する場合は、あて布をしてください。（11 ページ） ● かけ面の汚れを取り除いてください。

※ かけ面のお手入れについては、20 ページを参照してください。

状況　かけ面にキズがついたまたは破損した

考えられる原因	対処方法
金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。	● ジッパー上の使用は避けてください。
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	● かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。

仕様

製品名	スチームアンドプレス
電源	100V 50Hz-60Hz
定格消費電力	800W
温度ヒューズ	240℃
本体サイズ（cm）	（幅×長さ×高さ）38.8×9.5×12.7
本体重量	約 835g
コード長さ	約 3m
タンク注水量	50ml

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

Mede in China

愛情点検　●長年ご使用のアイロンの点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ·コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ·コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常·故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検·修理をご相談ください。

MEMO